

農業

平成27年2月号
会誌 No. 1595



目次

巻頭言

農業ビジネス.....吉田 岳志 3

論 壇

ソーラーシェアリングを励まそう.....丸山 清明 4

秋期中央農事講演会

わが国の農業技術研究の動向.....堀江 武 6
開催にあたって..... 6
講演..... 7
質疑・意見交換..... 26

先進的農業経営研究会

北陸地域の大規模水田作経営の事例..... 29
－わが国農業を先導する先進的農業経営研究会（第3回会合）－
話題提供
新潟県の大規模水田経営.....丸山 信昭 29
富山県の大規模水田経営.....高畠 尚志 35
質疑応答・意見交換..... 37

寄稿

アグリ・トランス・サイエンス……………難波 成任 54

農業・農村の現場から

「女性が拓く農業経営」シリーズ（第3回）

岡山の赤米を発信したい 赤米で総社をアピール……………諸藤 享子 66
- Uターン新規就農者による会社興し, 地域おこし 岡山県総社市 -

世界の農業は今

太平洋に浮かぶ島国の水資源……………大森 圭祐 71
- マーシャル諸島マジュロ環礁の地下水資源の現状と保全に向けた取り組み -

東京農業大学収穫祭から（第2回）

「森林の今昔物語」……………森林総合科学科造林学研究室 76
これからの森林づくりを考える

農政情報…………… 81

大日本農会だより…………… 82

表紙写真説明

南房総の花畑（千葉県南房総市千倉町白間津）

千葉県南房総では温暖な気候を利用して冬の時期に花栽培が行われており、冬の花畑は、風物詩として今や花摘みに訪れる観光客に知られる所となっている。また、大正から昭和にかけて、同じ南房総市の和田町で苦勞をしながら花栽培を始めた間宮七郎平の話は今に伝わっている。特に不況や戦中・戦後の苦しい時期を経ながら花栽培を続けてきた農家の努力は大変であったと想像され、今後さらに進む高齢化の中で、是非とも続けていただきたいと願う人は多いはずである。

今年は、昨年10月の台風被害で苗の植え直しが行われ、12月の寒さの影響も加わったことで例年より遅れているとの話だ。

(写真/説明：編集部)